森林整備

鳥取県　八頭町（航空レーザ測量データの解析）

- 八頭町では森林整備を進めるにあたり、森林資源の正確な現況把握や路網の適切な配置のための地形の把握が改めて必要であり、整備計画前の現況把握は複数人数での現地踏査となるため大きな労力や時間が課題になっている。また、令和元年度より開始された森林経営管理制度に基づく意向調査においても、正確な林況の把握が必要である。さらに、山地での地籍調査も平地に比べ遅れており、施業の足かせとなっている。
- 令和元年度においては、5,743haの解析が実施され、八頭町全域の解析が完了した。
  - 今後は、解析データを他課や県、林業事業体に直接提供し、さらに鳥取県森林クラウドへ搭載することでより広く共有を図る。
  - 県においては森林簿や森林計画図の修正や精度向上、林業事業体では現地踏査の省力化に利用されると期待される。
  - 町における利用では意向調査で林況により質問項目等を変えることで、回答率の向上が期待される。また、地籍調査担当課にも提供し、山地での地籍調査の省力化に活用してもらう。

□ 事業内容

1　航空レーザー測量解析事業

- 平成30年に県事業により実施された航空レーザ測量解析事業で全域の測量が実施され10,000haの民有林が解析されたが、令和元年度は残り部分の5,743haについて町単独で解析を実施した。解析データは他課や県、林業事業体に提供予定。

【事　業　費】17,600千円（うち譲与税8,800千円）

【実　　績】解析5,743ha

〇解析データ

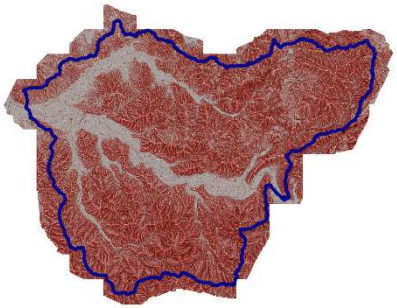
・微地形表現図（赤色立体図）

・林相区分図

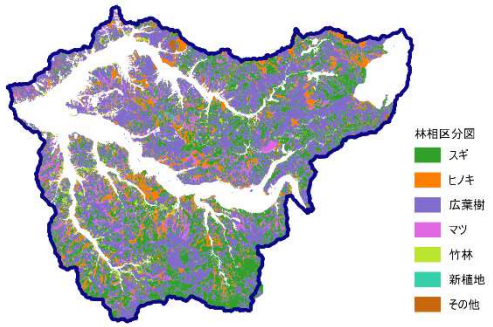
・単木情報（樹高・直径・幹材積）

・等高線（1m）

・各種指標（樹冠疎密度・相対幹距比　等）

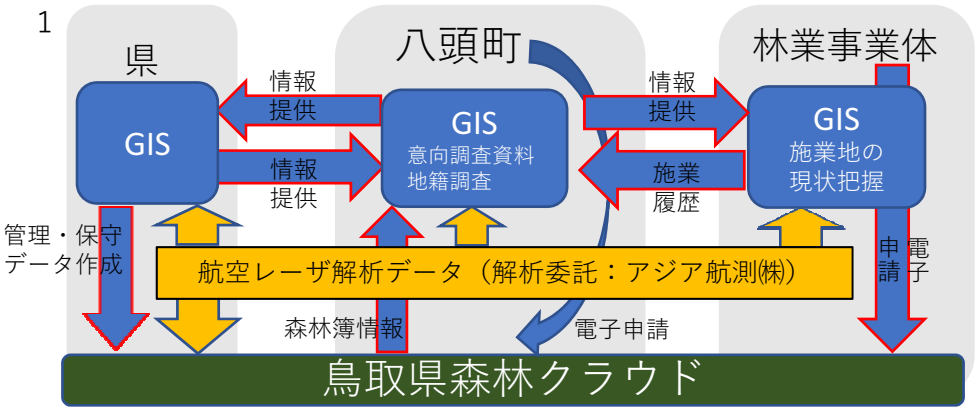


（成果１：微地形表現図）



（成果２：林相区分図）

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

- 解析データは納品後ただちにGIS上で内容確認し、不備や修正点を即座に指摘し、品質の担保に留意した。

□ 基礎データ

私有林人工林面積（※１）	6,050.95ha
林野率（※２）	79.9%
人口（※３）	16,985人
林業就業者数（※４）	50人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※２：「2015農林業センサス」より、※３，４：「H27年国勢調査」より